

養液回路リニューアル+できーるくんで何年ぶりのトマトになった!

愛知県海部郡飛島村の成田重光さんは、1200坪のハウスで水耕トマト専業として30年の大ベテラン農家です。

今年の農業規制で、春作はどうしようもない状態となり、このままでは止めるか、設備更新を含めて施設環境整備に取り組むかの決断を求められる状況になりました。採択されたのは前向きに考えて施設に手を入れる方向でした。

ここ30年来増設の繰り返しで配管は複雑化していたり、養液タンクを室外設置し、重力差で供給をしている方式で、ベットの水位が安定しない、供給量が少ないなどの課題を抱えていることから、養液配管の全面変更と地下タンク

方式へとリニューアル工事を実施されたものです。プラントは湛液式の「えむ」ですが、地下タンク内に設けた水位調節機能によって、全ベットの水位調節を均一化、ポンプOFF時でもオーバーフローによる水の流れる、気相がある状態を作る、「できーるくん」装備などの対応をさせていただきました。

すでに収穫・出荷が始まっていますが、こんな出来は何年ぶりと言われるトマトが採れています。2L、Lの大玉主体、秀の比率95%という状況で、市場からは選別条件が甘いのでは・・・とのお門違いの声も出るほど。品種はヨーク桃太郎、受粉もマルハナ蜂利用、摘

果もせずとの省力型栽培を工夫され夫婦二人のみで運営されています。

地下タンク+オーバーフロー機能+できーるくん装備の効果で、水位が上下し、発根が非常に良くなった。葉も昨年より大きくなって玉伸びがいい、玉・葉の艶もいいなど健康に育っている状況は明らかで、市況が弱く豊作貧乏が心配だが決断して良かったと満足な顔で答えていただきました。

今後は得意な栽培技術に加えて、インターネット販売など未知の領域も手がけられるなど、前向きな姿に感心させられました。今後の益々のご発展をお祈りいたします。(担当 川村庄一)

